

(様式第2号)

協働推進モデル事業計画書

※記載が複数ページにわたっても良いので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。ただし、この企画書はA4サイズ4ページ以内で作成してください。

提案団体名	団体名	中国デザイン専門学校 (担当者 宮脇成也)			
	合同提案団体 (*協議体・実行委員会等で提案される場合は構成団体をすべて記載してください。)				
協働する岡山市の担当課等と担当者	課名	庭園都市推進課		電話	
	担当2名	職名	課長補佐	職名	
		氏名	杉本健二	氏名	
提案事業の名称	みんなのトイレ美化プロジェクト				
提案事業の目的	芸術・美化活動を通じて岡山市の公衆トイレに観光振興、芸術への理解促進、郷土愛の醸成などの新しい価値を付与する。				
解決をはかりたい課題の緊急性・重要性等(市民ニーズ含む) ※ニーズ把握等で行った調査資料等がある場合は添付してください。	<p>1. 解決をはかりたい課題と現状</p> <p>昨今、全国の自治体で「公衆トイレ」の活用による安全・安心向上、観光促進、地域活性化が進められている。京都市・名古屋市のネーミングライツ、大分市の若草公園、千葉県の「森の入口」などは市民や企業との連携によって自治体の財源不足を補うだけでなく、公衆トイレに新たな価値を生み出した事例として広く知られているところである。</p> <p>岡山市内においても暗い、汚いという従来の公衆トイレのイメージを払拭するため、市民のアイデアや意欲を活用する「ネーミングライツ制度」が導入され、公衆トイレに新たな価値が付与される期待が高まっている。</p> <p>2. 市民ニーズ</p> <p>前述のとおり、岡山市においても「ネーミングライツ制度」が導入されるなど、公衆トイレの有効活用やイメージ向上への期待が高まっている。一方で岡山市中心部の公衆トイレでは、利用者が多い反面、安全面、衛生面への不安が付きまとい、管理を担う住民の間でも維持と撤去の意見が分かれている。</p> <p>3. 課題解決の方策</p> <p>中国デザイン専門学校の学生が中心となって以下の工程を進めていく。</p> <p>①モデル地域(トイレ)の選定 ②地域住民のニーズ収集 ③ワークショップ ④美化プロジェクト(清掃及びアート活動)の実施 ⑤報告会の開催</p> <p>なお、中国デザイン専門学校の学生はアート活動だけでなく、住民のニーズ収集やワークショップの運営にも積極的に関わる。必ずしも提案団体・学生が主導権を握ることにこだわらず、地域住民の主体性を引き出し、住民自身がトイレを地域の資源として活用・維持していくための意欲を醸成していくことを最優先とする。なお、一定の専門性を要する場面(ニーズの整理や分析、プレスリリースなど)では市(行政)や協力団体の指導、助言を仰ぐ。</p>				

<p style="text-align: center;">協働の必要性 及び効果と目標</p> <p>(協働の役割分担を含む)</p>	<p>1. 協働の必要性と相乗効果 (提案団体の強み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートやデザインの専門性。 ・学生による柔軟な発想と行動力。 ・地域にとって直接の利害関係者ではない立場を生かして住民や利用者から率直なニーズを引き出し、利害にとらわれない判断や提案ができる。 ・アートが公共・公益に寄与する可能性を知り、様々な社会課題への参加へつなげることができる。 <p>(市担当課の強み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条例や規則に基づいた助言、情報提供。 ・各区の窓口を通じた公園や公衆トイレの状況や住民のニーズ把握。 ・地域住民やトイレの利用者に安心感を与えることができる。 ・公共施設の維持・管理や付加価値創出のノウハウを蓄積し、他の地域・施設などに応用できる。 <p>上記のように本事業は両者の強みが最大限に生かされるだけでなく、協働でなければ(いずれかの強みが欠ければ)目的の達成が困難な事業である。また、芸術とインフラの維持・管理を結びつけるモデルとして様々な施設や社会課題へ効果を及ぼすことができると考える。</p> <p>2. 提案団体が果たす役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザイン案の策定、制作・整備 ・地域住民やトイレ利用者のニーズ収集 ・ワークショップの企画・運営 ・成果報告会の企画・運営 <p>3. 岡山市の担当課等が果たす役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政管理部門との連絡調整 ・市内全域への広報 ・住民・利用者に対する注意及び案内表示 ・西川緑道公園のトイレ(Hare ルーノ)の取組み情報の共有 ・市有施設の提供(会議など) <p>4. 期待する事業成果・目標値等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ整備: 1か所 ・利用者の満足度向上(事前・事後アンケートの実施): 事後アンケートの点数向上 ・報告会への参加人数: 100名以上 ・清掃活動への参加人数: 50名以上 ・他地域での公共インフラ整備の波及
---	---

具体的な目標（計画）があれば記載してください。

本事業を公衆トイレ整備のモデルとして、特にニーズの多い地域や観光振興・防犯などの観点から優先すべき地域の公衆トイレに対して同様の取り組みを波及させていく。

(様式第3号)

協働事業収支予算書

提案事業名	みんなのトイレ美化プロジェクト
--------------	-----------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体 自己資金	39,340	中国デザイン専門学 校
	合同提案団体 負担金等		
	自己資金等合計(a)		39,340
事業収入見込			
	事業収入見込合計(b)		
	岡山市補助金申請額(c)	156,000	
	収入合計(d)=(a)+(b)+(c)	195,340	

<支出>

費目		金額	内訳
事業実施経費	消耗品費	63,740	ペンキ、はけ、ビニールシートなど
	賃料	30,000	ワークショップ・報告会(5,000円×6回)
	人件費	60,000	学生作業実費(1,000円×60時間)
	報告書印刷製本費12p100部	21,600	ワークショップ、報告会
	中国デザイン専門学校消耗品使用	10,000	コピー代
	中国デザイン専門学校消耗品使用	10,000	プリンタートナー代
事業実施経費合計(e)		195,340	
管理運営経費			
	管理運営費合計(f)		
	総事業費(g)=(e)+(f)	195,340	※収入合計(d)と同額

(添付書類等) 1. 人件費等については、積算の根拠(これまでの実績や独自の単価表)を添付すること
2. 参加料などの事業収入を見込む場合は「事業収入見込」欄に計上すること